

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	さくらんぼるーむ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの発達状態やその日の状態に応じたグループや個別での支援を行っていること	・少人数の中でも、子どもの状況に応じて、個別や2．3人のグループでの療育にしたり、職員の人数を増員しています。	・特に新年度などには、子どもたちが無理のない環境作りを大切にし、グループの人数を臨機応変に変更していこうと思います。また、子どもたちが安心できるように信頼できる関係作りを強化を目指していきます。
2	・子どもたちが楽しく療育に通っていること	・子どもたち一人一人の発達や情緒面や合わせて活動を決めています。その中で、子どもたちの好きなキャラクターを使ったり、子どもたちが“やってみたい”という意見を取り入れ、日々の療育を職員全員で工夫しています。	・さらに充実を図るために、新しい療育内容を取り入れたり、子どもたちの“好きなもの”を保護者と共有していきたいと思います。
3	・職員同士で、意見交換をする場面が多いこと	・会議以外にも、子どもたちの様子や療育内容・反省などを日常の中で共有していることが多いと思います。	・今後も風通しの良い職場環境を目指し、新しいことにも挑戦していきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流が不足していること	・法人内以外の認定こども園などとの交流や、地域の他のこどもと活動する機会が不足しています。	・保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを職員で検討していきたいと思います。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 さくらんぼるーむ

公表日 2025年 4月 1日

利用児童数 60

回収数 49

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42	6	1	0	少し狭そうに感じる。 体を動かす場合はもう少し広い方が良いと思う。 少人数なので十分広さがある。 体を使った活動もあったり、スペースが有効に使われている。	療育室の広さに限界があるので、 春や秋の気候のいい時期は近隣の公園へ 出かけ遊具遊びや、広場でルールある遊びを行っている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	48	0	0	1	あまり親子だけにならないように先生の人数は適切と思う。 よく目が行き届く人数。 保育園に通っている時よりもはるかに多い。	4月当初は職員を多めに配置し、安全面や子どもたちが不安にならないように配慮しているが、環境に慣れてきたら職員数を調整して子どもたちが全体指示で動けるように配慮している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	43	5	0	1	整理整頓されている。 室内は良いが、玄関までの階段が少し危ないと思う。 バリアフリーではないが我が子には問題なし。 衝立やカーテンなどで集中したり落ち着かせる空間ができています。 視覚支援が充実していて良い。 おもちゃをなおす場所などに写真が貼っていてわかりやすい。	・療育室から自転車置き場の1階までの階段が急であるが、子どもたちが利用する際は必ず保護者とともに職員もつくようにしている。 ・環境設定のためにパーテーションを使用することがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	49	0	0	0	視覚的に工夫されている。 ゴミなど落ちていないので清潔。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	48	0	0	1	よく見て支援していただいている。 困り事などは定期的に聞いてくれる。 毎週目的に応じた支援がされている。 こどもに合った支援をしてもらい、できることが増えた。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	49	0	0	0	ほとんど合っている。 療育予定は月単位でわかりやすく知らせている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	48	0	0	1	まだ入所したてのためわからない。 保護者のニーズをよく理解いただいている。 子どものことをよく見てくれていると思う。 定期的に支援計画の見直しがある。 よく子どものことを観察してくださり、ニーズに合った計画が立てられている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	45	1	0	3	まだ入所したてのためわからない。 面談や子どもの姿からよく考えられている。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46	2	0	1	まだ入所したてのためわからない。 こどもに合わせた支援が行われている。 一日の支援のねらいなどもわかりやすく説明されている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	48	1	0	0	毎月季節の製作など工夫してもらっている。 毎週違い、季節に合っている。 自由遊び時のおもちゃが定期的に入れ替わっていてとても良い。 体を動かしたり、手先を使ったり色々な支援活動をされている。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	6	6	18	利用する曜日、時間によってはない場合もある。 公園に行った際にあった。 午前クラスの時はあったけど今は仕方ないと思う。 この事業所においては、個人的に他との交流の必要性を感じていない。 参加したことがなく、わからない。	午前の親子クラス(就園前)は法人内の保育園でどろんこ遊びや水遊びを経験できるようにし、保護者はその時に保育園見学を行っている。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	46	0	1	2	コピー等、保護者の手元にあると保育園とも共有しやすい。初回はもらったので、できれば毎度もらえると良い。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	47	0	1	1	定期的に行っていると思う。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	47	1	0	1	迎え時やノートで伝えあっている。たくさんのお子様がいる中、個々に発達の理解をしてもらえていると思う。療育後は、かなり詳しくできたこととできなかったことなど聞けている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	0	0	1	迎え時やノートで支援を受けている。日々、生活に不安なことが多くあるが、相談できる職員がいて感謝している。	送迎時の保護者との会話や連絡帳を使って園や家庭での様子を聞き取ったり、相談に応じている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	0	0	0	親身になって支援していただいている。子どもの成長を共に喜んでくれて嬉しい。疑問に思うことに対して丁寧に応えてくださる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	39	5	0	5	色々な交流会があるが、きょうだい向けの交流会はまだ見たことがない。研修や座談会等定期的に実施されているが仕事のためなかなか参加できない。土曜日開催や、参加できなかった人にも情報提供があると嬉しい。保護者同士の交流の場は充実していると思う。座談会では日頃知ることができない情報をたくさん知れてありがたい。	保護者向けの進路説明会、学習会、座談会等は行っているが、きょうだい向けの交流はまだ行っていない。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	46	0	0	2	相談しやすく親身になって話を聞いている。いただき、一緒に解決策を考えてもらっている。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	0	0	0	おたよりやノート、迎えの際によく話している。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	37	2	0	9	毎月予定表や様々な情報を載せたおたよりをいただいている。おすすめの病院一覧がとても良かった。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	47	0	0	1	重要事項説明書にて説明済み、留意されている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	44	1	0	3	避難訓練はしていた。重要事項説明書にて説明済み、留意されている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	46	0	0	2	災害時の対応については説明があった。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44	2	0	2	書面や口頭で説明があった。常に子どもをよく見て支援活動がされている。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	43	0	0	5	事故がないのでわからない。子ども達が軽くぶつかった際にもきちんと説明を受けた。重要事項説明書で説明があった。	事故はあってはいけませんが、子ども同士がぶつかった時などは冷却などの応急処置を行っている。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	47	0	0	1	さくらんぼの一むに通いだしてから嫌がらずに通所している。先生に心を許している。先生たちが大好きで親子共に安心して通えている。何事も行き渋りがちな子だが初回からスムーズに母子分離できている。	不安が高い子どもや個別対応が必要な子どもには職員が寄り添いながら、事業所が安心できる場所になるように配慮している。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	47	1	0	0	とても楽しみにしている。先生とお友だちに会えることを楽しみにしている。どんな活動をするのかいつも楽しみにしている。週1回では足りないと言っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	48	0	0	0	我が子の特性や障害の重さだと受入が難しい療育施設もあるが、しっかり向き合ってくれたことが嬉しかった。子どもへのあたたかな接し方が有難い。大変満足。小学校からも通えたらと思う。困り事があれば相談に乗ってくださり、解決に向けてアドバイスしてくださる。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さくらんぼるーむ		公表日 2025 年 4 月 1 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		その日の出席人数や子どもの特性に合わせ職員の配置人数を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		スケジュール表で予定を明確にする、必要に応じパーティションで空間を区切るなどの配慮をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		指示説明に集中できるように掲示物を減らす、目に見える物を机上に置かないなどの配慮をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		子どもの特性や情緒に合わせ別室を使う機会がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		療育前の打ち合わせと療育後の反省を毎回行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			できるだけ、評価表の収集率をあげていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保育会議を毎月行って状況報告、改善に向けての話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		第三者による外部評価を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内や外部の研修に参加している。	看護師研修なども引き続き実施していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		支援計画を保護者との懇談の中で話を聞き取りながら作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		保育会議で情報を共有し、支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			業務の仕方を考え、会議の時間等を考えていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		活動内容がマンネリ化しないように月ごとに計画・立案している。	同じ法人の療育施設と共有しながら、新しいプログラムを考えていきたい。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		療育前の打ち合わせで確認し、支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		療育後の振り返りで評価・反省している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			業務効率をあげていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度個人懇談の中で行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		保護者や園などの要望に応じ行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学に向けての連携も訪問・電話等で行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8			今後、検討していきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	法人内のこども園の園児と交流する機会を持っている。	今後、希望があれば検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		口頭や連絡帳を用い共有している。	メールを活用し、今より相談しやすいツールを作っていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		当事者の会や座談会で機会をつくっている。	ペアトレの開催を検討している。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		年に二回、個人懇談の中で話をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		口頭で説明し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談があった際は、面談や電話で相談に応じている。	メールを活用し、今より相談しやすいツールを作っていく。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		就園・就学に向けての進路説明会、座談会などを年に数回行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月おたよりを発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		キャビネットに施錠して管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		表情や様子、ジェスチャーで気持ちを汲み取るよう配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	現在は行えていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		避難訓練を定期的に行っている。	避難訓練を行った時には保護者にも通達していきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		個人記録や聞き取りで把握している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		個人記録や聞き取りで把握している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		緊急避難先を知らせたり、療育中は連絡が取れるように協力していただいている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	事案を共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的に研修会を行い、対応の周知をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	支援計画に記載している。	